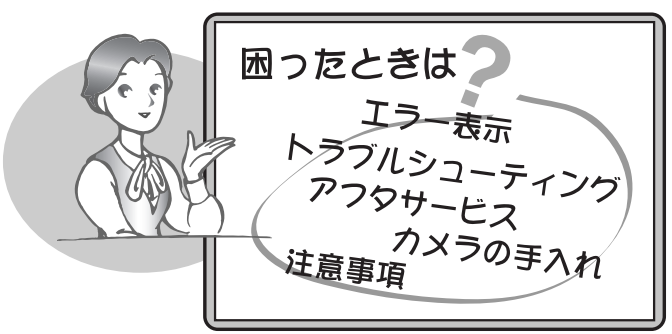
9 付録

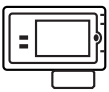
オリンパスからのお願いです。

カメラを使っていて困ったとき、疑問があったとき、ぜひご一読ください。エラー発生！、トラブルあり、うまく撮影できない、カメラの保管方法がわからない、難しい用語を調べたい、などを解決します。



エラーコード表示

液晶モニタ表示	原因	こうしましょう
日時設定がされていません	はじめてカメラを使用するときや長期間電池を抜いていたときは、日時が初期設定の状態になっています。	日時を設定してください。
カードを認識できません	カードが入っていません、または認識できません。	カードを入れてください。またはカードを正しく入れなおしてください。 それでもこの表示が消えないときはカードをフォーマットしてください。フォーマットできない場合、このカードはご使用になれません。
このカードは使用できません	カードに問題があります。	このカードは使用できません。新しいカードを入れてください。
書き込み禁止になっています	カードが書き込み禁止になっています。	パソコンを使って読み取り専用の設定がされています。 再度パソコンを使って解除してください。
撮影可能枚数が0です	カードの撮影可能枚数が0のため、撮影できません。	カードを交換するか、不要な画像を消してください。大切な画像は消す前にパソコンに取り込んでください。
カード残量がありません	カードに空き容量がなく、プリント予約など新たな記録をすることができません。	カードを交換するか、不要な画像を消してください。大切な画像は消す前にパソコンに取り込んでください。
画像が記録されていません	カードに画像が記録されていないため再生できません。	カードに画像が入っていません。 撮影してから再生してください。

液晶モニタ表示	原因	こうしましょう
 この画像は 再生できません	選択した画像に問題があり、再生できません。	パソコンの画像ソフトなどで再生してください。それでも再生できない場合は、画像ファイルの一部が壊れています。
 カードカバーが 開いています	電池／カードカバーが開いています。	電池／カードカバーを閉めてください。

故障かな？と思ったら

原因	こうしましょう	参照ページ
カメラが動かない、またはボタンを押しても動かない		
電源が切れている	カメラをしばらく放置すると自動的に電源が切れます。**POWER**スイッチを押して、カメラの電源を入れてください。	—
電池残量が少なくなった	電池を充電してください。	—
寒さで電池の性能が一時的に低下した	電池をポケットに入れるなどして温めてからご使用ください。	—
パソコンに接続している	パソコンとの接続中、カメラは動作しません。切り離してからご使用ください。	—
シャッターボタンを押しても撮影ができない		
電池残量が少なくなった	電池を充電してください。	—
再生モードになっている	モードスイッチを ▶ 以外にしてください。	P.10
フラッシュの充電が完了していない	一度シャッターボタンから指をはなし、ϟ マークの点滅が終わってから撮影してください。	—
カードの容量がいっぱいになった	不要な画像を消すか、新しいカードを入れてください。大切な画像は消す前にパソコンに取り込んでください。	P.79
撮影中やカードの書き込み中に電池がなくなった（「電池残量がありません」と表示された後に液晶モニタが消灯した）	電池を充電してください。（カードアクセスマークが点滅中は、消灯するまでお待ちください。）	—
メモリゲージがすべて点灯している	メモリゲージの一番上が消灯するまで、お待ちください	P.175
液晶モニタが消灯した		
電源が切れている	カメラをしばらく放置すると自動的に電源が切れます。**POWER**スイッチを押して、カメラの電源を入れてください。	—
ピント合わせのとき画面の色が乱れる		
シャッターボタンを半押ししたとき、液晶モニタに表示されている画面の色が乱れることがある	故障ではありません。ピントが合うと正しい色で表示されます。	—

原因	こうしましょう	参照ページ
フラッシュが発光しない		
フラッシュが発光禁止に設定されている	フラッシュの設定を［発光禁止］以外に設定してください	P.52
明るい被写体である	フラッシュを強制的に発光させたい場合は、フラッシュを［強制発光］に設定してください。	P.52
モードスイッチが 🎞 に設定されている	🎞 ではフラッシュはご使用になれません。モードスイッチを 📷 にしてください。	P.10
電池の消耗が早い		
寒い中で使用している	低温下では電池の性能が低下します。カメラを防寒具や衣類の内側に入れるなどして保温しながら使用してください。	—
電池残量が正しく表示されていない	カメラの消費電力が大きく変化する際、電池残量の警告表示なしで電源が切れる場合があります。電池を充電してください。	—
液晶モニタが見にくい		
液晶モニタの画像に縦スジが入る	晴天下のような明るい被写体に向けると、画像に縦スジが入ることがあります。故障ではありません。	—
液晶モニタの明るさの設定が適切でない	モードメニューの［モニタ調整］で液晶モニタの明るさを調整してください。	P.96
太陽光の下である	太陽の光を手などでさえぎってください。	—
画像に記録される日付が正しくない		
日時が設定されていない	モードメニューの［日時設定］で日時を設定してください。お買い上げ時には日時の設定はされていません。	P.97
電池を抜いて放置していた	もう一度、日時を設定してください。	P.97
設定した機能が電源を切ると元に戻ってしまう		
［設定保持］の機能が［しない］に設定されている	モードメニューの［設定保持］を［する］にしてください	P.82
ピントが合わない		
AFが苦手な被写体である	フォーカスロックを使ってピントを合わせてください。	P.26
被写体が近すぎる	被写体との距離が30cm以内のときは、［スーパーマクロ］に設定してください。	P.41

原因	こうしましょう	参照ページ
画像が再生できない・よく見えない		
電源が入っていない	カメラをしばらく放置すると自動的に電源が切れます。**POWER**スイッチを押して、カメラの電源を入れてください。	—
撮影モードになっている	モードスイッチを▶にしてください。	P.10
液晶モニタの明るさの設定が適切でない	モードメニューの［モニタ調整］で液晶モニタの明るさを調整してください。	P.96
テレビに接続している	AVケーブルを接続しているときは液晶モニタは点灯しません。	P.77
1 コマ消去・全コマ消去ができない		
画像がプロテクトされている	［プロテクト］を［オフ］に設定してください。	P.78
カメラとテレビを接続してもテレビに映像がでない		
カメラの映像出力信号が間違っている	使用する地域の映像信号に［ビデオ出力］の設定を合わせてください。	P.99
テレビの映像信号の設定が間違っている	テレビをビデオ（映像）入力モードにしてください。	—
撮影した画像が暗い		
フラッシュを指で覆ってしまった	カメラを正しく構え、フラッシュを覆わないように気をつけてください。	—
撮りたいものがフラッシュ撮影範囲より遠かった	フラッシュ撮影範囲内で撮影してください。	P.53
フラッシュが［発光禁止］になっていた	フラッシュを［発光禁止］以外に設定してください。	P.52
逆光状態で小さい被写体を撮影した	フラッシュを［強制発光］に設定するか、測光を［スポット］に設定して撮影してください。	P.52 P.55
雪景色などの明るい（白い）被写体を撮ると、実際より暗く見える画像が撮れる	［ビーチ＆スノー］に設定するか、露出補正をオーバー（+）側に設定してください。	P.38 P.56
中央部が明るかった	中央部に明るいものがあると、全体が暗く写ります。露出補正をオーバー（+）側に設定してください。	P.56

原因	こうしましょう	参照ページ
撮影した画像の色がおかしい		
照明の色が影響した	照明に合ったホワイトバランスを設定してください。	P.57
撮るものに白い部分がなかった	白いものを入れて撮影するか、フラッシュを［強制発光］に設定して撮影してください。	P.52
ホワイトバランスの設定を間違えた	光源に合わせて、もう一度ホワイトバランスを設定しなおしてください	P.57
画像の一部が暗い		
レンズに指やストラップがかかってしまった	カメラを正しく構え、レンズに指やストラップがかからないように気をつけてください。	—
再生画像のピントが合っていない		
AF が苦手な被写体を撮影した	フォーカスロックを使ってピントを合わせてください。	P.26
フラッシュが必要な暗い状況で［発光禁止］に設定していた（手ぶれ）	フラッシュを［発光禁止］以外に設定してください。 ［発光禁止］で撮影する場合には、シャッター速度が遅くなります。カメラを固定するか、カメラをしっかり構えて撮影してください。	P.52
シャッターボタンを押すときにカメラが動いてしまった（手ぶれ）	カメラを正しく構え、シャッターボタンを静かに押して撮影してください。 シャッター速度が遅くなるほど手ぶれが起きやすくなります。夜景撮影やフラッシュを［発光禁止］で撮影するときは、カメラを固定するか、カメラをしっかり構えて撮影してください。	—
被写体が近すぎた	被写体との距離が30cm以内のときは［スーパーマクロ］に設定してください。	P.41
レンズに水滴がついていた またはレンズが汚れていた	レンズの水滴や汚れを拭きとってください。レンズブロワー（市販）でレンズのほこりを吹き払って、カメラクリーナ（付属）でやさしく拭いてください。レンズを汚れたままにしておくと、かびが生えることがあります。	P.157
パソコンでカメラが認識されない		
USBドライバがインストールされていない	OLYMPUS Master をインストールしてください。	P.136
カメラの電源が切れている	POWERスイッチを押して、カメラの電源を入れてください。	—

アフターサービス

- 保証書はお買い上げの販売店からお渡しいたしますので「販売店名・お買い上げ日」等の記入されたものをお受け取りください。もし記入もれがあった場合は、ただちにお買い上げの販売店へお申し出ください。また保証内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 本製品のアフターサービスに関するお問い合わせや、万一故障の場合はお買い上げの販売店、または当社サービスステーションにご相談ください。取扱説明書にしたがったお取扱いにより、本製品が万一故障した場合は、お買い上げ日より満1ヶ年間「保証書」記載内容に基づいて無料修理いたします。
- 保証期間経過後の修理等については原則として有料となります。
- 当カメラの補修用性能部品は、製造打ち切り後5年間を目安に当社で保有しております。したがって本期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、期間後であっても修理可能な場合もありますので、お買い上げの販売店、または当社サービスステーションにお問い合わせください。
- 海外で故障・不具合が生じた場合は、オリンパス代理店リストに記載の Ⓦ マークが付いた販売店・サービスステーションまでご依頼ください。
- 本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用、および撮影により得られる利益の喪失等）については補償しかねます。また、運賃諸掛かりはお客様においてご負担願います。
- 修理品をご送付の場合は、修理個所を指定した書面を同封して十分な梱包でお送りください。また控えが残るよう宅配便または書留小包のご利用をお願いします。

カメラのお手入れと保管

カメラのお手入れ

1 **POWERスイッチを押して、カメラの電源を切ります。**
液晶モニタが消灯していることを確認してください。

2 **電池とカードを取り出します。**
ACアダプタを使用しているときは、まず接続コードをカメラから抜き、その後電源プラグをコンセントから抜きます。

3 **カメラの外側**
→ 付属のカメラクリーナでやさしく拭いてください。汚れがひどい場合は、他の柔らかい布をうすめた低刺激のせっけん水に浸して、硬く絞ってから、汚れを拭き取ります。そのあと、乾いた布でよく拭きます。海辺でカメラを使用した場合は、真水に浸した布を硬く絞って拭き取ります。

液晶モニタ
→ 付属のカメラクリーナでやさしく拭きます。

レンズ
→ レンズブロワー（市販）でほこりを吹き払って、カメラクリーナ（付属）でやさしく拭きます。

カード
→ 付属のカメラクリーナで拭きます。

カメラの保管

- カメラを長期間使用しないときは、電池とカードを取り外してから風通しがよく涼しい乾燥した場所に保管してください。
- 保管期間中でも、ときどき電池を入れてカメラの動作を確かめてください。

注意

- 絶対にベンジンやアルコールなどの強い溶剤や化学雑巾を使わないでください。
- お手入れをする前に、必ず電池をカメラから取り外してください。
- レンズを汚れたままにしておくと、かびが生えることがあります。
- 薬品を扱うような場所での保管は腐食などの原因になるため避けてください。

使用上の注意

使用条件について

- 動作不良や故障の原因となる可能性がありますので、以下のような場所で長時間使用したり保管しないでください。
  - 高温多湿、または温度・湿度変化の激しい場所
    直射日光下や夏の海岸、窓を閉め切った自動車の中、冷暖房器、加湿器のそばなど
  - 砂、ほこり、ちりの多い場所
  - 火気のある場所
  - 水に濡れやすい場所
  - 激しい振動のある場所
- カメラを落としたりぶつけたりして、強い振動やショックを与えないでください。
- レンズを直射日光に向けて撮影または放置しないでください。CCDの退色・焼きつきを起こすことがあります。
- 寒い戸外から暖かい室内に入るなど急激に温度が変わったときは、カメラ内部で結露する場合があります。予めビニール袋などに入れて密封し、カメラを室内の温度になじませてからご使用ください。
- 長期間使用しないと、カビがはえたり故障の原因になることがあります。
  使用前には動作点検をされることをおすすめします。
- 電気接点部には手を触れないでください。

電池について

- 当社製リチウムイオン電池は、当社デジタルカメラ専用です。他の機器に使用しないでください。使用できる機種については、カメラの取扱説明書でご確認ください。
- 電池の＋－極が汗や油で汚れていると、接触不良をおこす原因になります。乾いた布でよく拭いてから使用してください。
- 充電式電池をお買い上げ後初めてご使用になる場合、また長時間使用しなかった場合は、必ず充電してください。
- 電池は、一般に低温になるにしたがって一時的に性能が低下します。寒冷地で使用するときは、カメラを防寒具や衣服の内側に入れるなどして保温しながら使用してください。なお、低温のために性能の低下した電池は、常温に戻ると回復します。
- 撮影条件、使用環境および電池により撮影枚数が減少する場合があります。
- 長期間の旅行などには、予備の電池を用意することをおすすめします。
- **ご使用済みの充電式電池は貴重な資源です。充電式電池を捨てる際には＋－端子をテープで絶縁してから、最寄りの充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。**
- **詳しくは社団法人電池工業会のホームページ（http://www.baj.or.jp/recycle/）をご覧ください。**

Li-ion

ACアダプタについて

- 付属のACアダプタ以外はご使用にならないでください。また、電源は必ず指定の電圧範囲でご使用ください。
- ACアダプタは室内専用です。
- 接続コードや電源コードをプラグやコンセントから抜くときは、必ずカメラの電源を切ってから行ってください。カメラ内の画像やカメラの設定値、機能にトラブルを生じる場合があります。
- 使用中、ACアダプタが熱くなることがありますが、故障ではありません。
- ACアダプタ内部で発信音がすることがありますが、故障ではありません。
- ラジオの近くで使用すると雑音が入る場合がありますので、離してお使いください。

カードのお取扱いについて

- 乳幼児の手の届くところに置かないでください。あやまって飲み込む恐れがあります。
- 間違った扱い方をすると内部データが破壊されます。以下のことに注意してください。破壊されたデータの復旧はできません。
  - 曲げたり衝撃を与えない。
  - 発熱物・発火物の近くや高温多湿なところ、埃の多いところで使ったり保管しない。
  - 水に濡らさない。
  - 端子部に直接触れたり金属物をあてない。
  - データの書き込み／読み込み中に電源を切ったり、衝撃を与えたり、カードや電池を取り出したりしない。
- カードには寿命があり、長期間使用すると書き込みや消去ができなくなります。その場合は新しいカードとお取り替えください。
- パソコンなど他の機器でフォーマットしたカードは、必ず使用するカメラでフォーマットしてお使いください。
- 他の媒体に保存したデータの損害、またカード内のデータ消滅に関し、当社では一切責任を負いかねますのでご了承ください。

液晶モニタについて

- 液晶モニタは強く押さないでください。画面上ににじみが残り、画像が正しく再生されなくなったり、液晶モニタが割れたりするおそれがあります。万一破損した場合は中の液晶を口に入れないでください。液晶が手足や衣類に付着した場合は、ただちに石鹸で洗い落してください。
- 液晶モニタの画面上下に光が帯状に見えることがありますが、故障ではありません。
- 被写体が斜めのとき、液晶モニタにギザギザが見えますが、故障ではありません。再生時には目立たなくなります。
- 一般に低温になるにしたがって液晶モニタは点灯に時間がかかったり、一時的に変色したりする場合があります。寒冷地で使用するときは、保温しながら使用してください。低温のために性能の低下した液晶モニタは、常温に戻ると回復します。
- **本製品の液晶モニタは、精密度の高い技術でつくられていますが、一部に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがあります。これらの画素は、記録される画像に影響はありません。また、見る角度により、特性上、色や明るさにむらが生じることがありますが、液晶モニタの構造によるもので故障ではありません。ご了承ください。**

お問い合わせいただく前に（お願い）

- より迅速、正確にお答えするために、お手数ですが以下の内容をあらかじめご確認ください。
- FAXまたは郵便でお問い合わせいただく場合は、必ずご記入ください。
- 問題が発生したときの症状・表示されたメッセージ・症状の再現性など：
  パソコンが関係する問題は、とくに正確な状況把握が難しいので、お手数ですができるだけくわしくお知らせください。

- **お名前（フリガナ）**
- **連絡先：** 郵便番号
  ご住所（自宅か会社のいずれかを明記願います）
  電話番号／FAX
  E-mail
- **製品名（型番）：**
- **シリアル番号（製品底面に記載されています）：**
- **お買い上げ日：**
- **問題が発生したときの症状（表示されたメッセージ、症状の再現性など）：**

※ 以下は、カメラをパソコンと接続してご使用、またはソフトウェアをご使用の場合にお確かめください。

- **ご使用のパソコンの種類：**
  パソコンメーカー・型番等
- **メモリの容量　ハードディスクの空き容量：**
- **OS名とバージョン：**
  （Mac OS）コントロールパネルや機能拡張の内容
  （Windows）コントロールパネルーシステムーデバイスマネージャーの内容
- **その他接続されている周辺機器名：**
- **問題のご使用アプリケーションソフト名とバージョン：**
- **問題のご使用弊社ソフト名とバージョン：**

用語解説

画素

画像を形成する最小単位の点の数。画素数が多いほど、サイズの大きな画像を作るのに適しています。

デジタルESP測光（electro selective pattern）

CCD出力によって、周辺と中心部を個別に測光し、演算して露出を決める測光方法。このカメラでは、測光でESPを選択することで機能します。

露出

シャッターを開いて、光をとり込むこと。また、画像が写るために得る光の量。シャッター速度で時間を、絞りでレンズを通して入ってくる光の量を調節して、露出を決めます。

●アルファベット順

CCD（charge coupled device）

レンズを通して入ってきた光を受けて、電気信号に変換する素子。CCDで受けた光をRGBの信号に変換して、一つの画像を作り出します。

DCF（design rule for camera file system）

電子情報技術産業協会（JEITA）で制定された、画像ファイルに関する規格。

DPOF（digital print order format）

デジタルカメラの自動プリントアウト情報を記録するフォーマット。画像を保存したカードにプリントしたい画像の指定や、枚数の指定情報を記録することで、DPOF対応のプリントショップやプリンタでプリントアウトを簡単に行うことができます。

EV（exposure value）

露出値。絞り値がF1、シャッター速度が1秒のときの光量をEV0と規定し、それより絞りを一段絞ったり、シャッター速度を一段早くするごとに、数値は1ずつ多くなります。EVは明るさとISO感度でも表せます。

JPEG（joint photographic experts group）

カラー静止画の圧縮方式。このカメラで撮影した写真（画像）は、JPEG形式でカードに記録されます。パソコンに読み込めば、グラフィックス用のアプリケーションソフトで加工したり、インターネット閲覧ソフト（ブラウザ）で見ることができます。

NTSC／PAL（National Television Systems Committee／Phase Alternating Line）

テレビの映像信号方式。NTSCは主に日本、北米、韓国で使用され、PALは主にヨーロッパ諸国や中国で使用されています。

PictBridge

異なるメーカーや機種に関係なく、パソコンを介さずに直接接続されたデジタルカメラとプリンタによるダイレクトプリントが可能な標準規格。

TFT（thin-film transistor）

カラー液晶モニタ薄膜技術によるカラー液晶モニタ。